

丹波市森林林業振興協議会次第

日時：令和４年８月９日（火）
午後１時３０分～
場所：春日住民センター 大会議室

- １．開　　会
- ２．あいさつ
- ３．委嘱書の交付
- ４．自己紹介
- ５．報告事項
 - ①令和３年度林業振興施策の実績について（資料 P1～P2）
 - ②森林環境譲与税活用事業の使途状況について（資料 P3）
 - ③令和４年度林業振興施策の進捗状況について（資料 P4～P6）
- ６．協議事項
 - ①今後の林業施策展開に向けた新たな検討事項について（資料 P7～P9）
- ７．その他
- ８．閉　　会

令和3年度林業施策の実績について

公的森林整備の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
森林経営計画の認定	7 件 篠場、福田・朝阪、大名草 谷川、西谷、三方・中、上新庄	—
間伐面積（100%作戦事業分）	310.95ha	1,479 万 9 千円 （県基金 347 万 2 千円）
更新伐面積・植栽・防護柵設置 （広葉樹林化促進事業）	更新伐 5.0ha 植栽 1.54ha 防護柵 1465m	172 万 6 千円 （県基金 40 万 5 千円）
作業道開設延長（100%作戦事業）	6,190m	601 万 5 千円 （県基金 141 万円）
作業道開設延長 （広葉樹林化促進事業）	1,978m	180 万 6 千円 （県基金 42 万 3 千円）
作業道開設延長（市単独事業分）	34,613m	3,177 万 7 千円
高性能林業機械の導入支援	グラップル 1 台 グラップル付フォワーダ 1 台	225 万円 496 万 6 千円
林道整備事業（路面補修）	林道笹西線 120.5m	52 万円

自治会等地域組織による森林整備活動の推進

森林山村多面的機能発揮対策交付金	18 組織 活動面積 79.4ha	172 万 9 千円
住民参画型森林整備事業 （県民緑税事業）	実施団体無	—
丹波の里山づくり体験促進事業 （丹波の森構想 30 周年記念事業）	チェンソー安全講習受講者 20 名	市負担無

丹波市産材の利用促進

公共建築物等への木材の利用推進 （丹の木づかい推進プラン）	道の駅おばあちゃんの里 観光情報センター増築（木造） 木質化 259m ² ・木材利用 28m ³	譲与税充当 44 万円 （一般財源 89 万円）
地元産材を用いた住宅建築への支援	25 戸 使用材積 419.9 m ³	793 万 9 千円

県民緑税を活用した森林整備の推進（※は県直営事業のため事業費の記載無し）

野生動物共生林整備※	（整備造成） （調査）	白毫寺Ⅱ 6.68ha 戸坂Ⅰ 40.0ha
里山防災林整備※	（整備造成） 〃 （調査） 〃	岩本・文室・惣持 5.14ha 田路 4.97ha 森 8.7ha 領町 6.3ha
緊急防災林整備（渓流対策）※	（整備造成）	1 渓流（氷上）
緊急防災林整備（斜面对策）	7 箇所 25.59ha	1,175 万 5 千円 （全額県費）
針葉樹林と広葉樹林の混交林整備 （植栽：3 年次）	三方 3.31ha	873 万 3 千円 （全額県費）

森林環境譲与税を活用した森林整備の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
森林吸収源整備事業	整備面積 42.85ha 作業道 223m	2,274 万 4 千円
未整備林調査支援事業	森林境界の確認 3.26ha 測量 1.21ha	5 万 3 千円
経営管理集積林整備事業	—	—
緊急里山林整備事業	整備業務 15 箇所 調査業務 4 箇所	2,015 万 6 千円
林業事業体等活動促進事業	2 事業体 4 講習	13 万 4 千円
未整備林広葉樹転換促進事業	2 箇所（奥塩久・井中） 間伐 1.49ha 植栽 0.14ha 作業道 325m	328 万 1 千円

林業普及推進員制度の活用

林業普及推進員（15 名）の自治会等への派遣・協議	5 自治会等 延 20 回 （生郷 15 回・栗住野 2 回・市辺 1 回・畑内 1 回・酒梨 1 回）
林業普及推進員レベルアップ講座の開催	1 回開催 12 名参加

森林病虫害防除対策の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
松くい虫特別防除業務	柚津、鹿場、下三井庄、阿草、五ヶ野 散布面積 105.9ha	962 万 5 千円 （全額県費）
景観伐倒業務 （過年枯れ松林整備）	鹿場 伐採材積 100.0 m ³	115 万 5 千円 （57 万 7 千円県費）

気象害による倒木等の処置対策

簡易土留工設置事業	敷設土留工 31 基 延 108m	132 万 9 千円
-----------	-------------------	------------

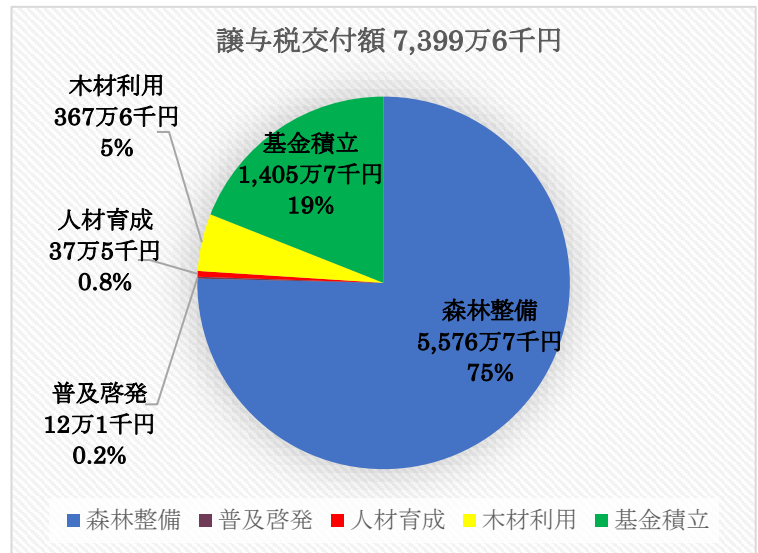
その他

緑化事業 （緑の募金関連）	職場募金 217,183 円 団体募金 18,054 円 窓口募金 1,696 円 地域活動助成金 和田自治会所有林整備 11 万 8,400 円の支出
------------------	---

森林環境譲与税 使途内訳（令和2～4年度）

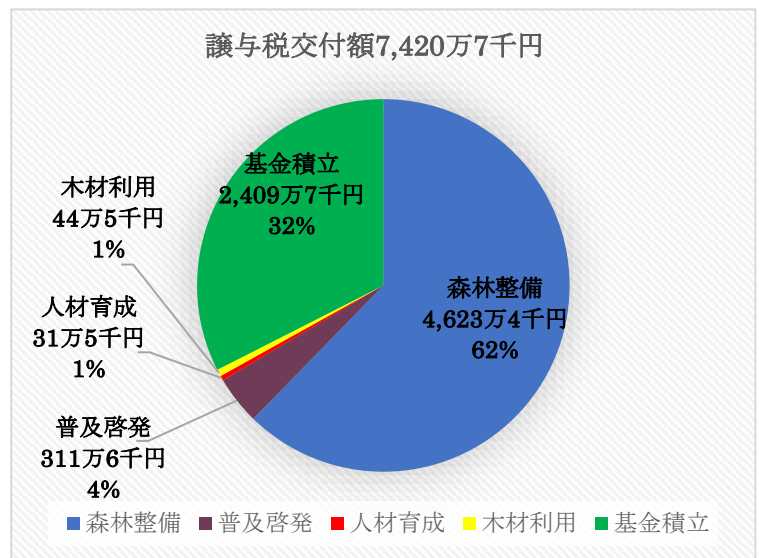
【令和2年度決算】（単位：千円）

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	30,118
	森林吸収源整備	25,350
	未整備林調査支援	299
普及啓発	林業普及推進員活動	39
	制度活用経費	82
人材育成	森林づくり協議会	81
	木質バイオマス搬出支援	294
木材利用	公共建築物の木造木質化	3,676
基金積立		14,057
合計		73,996



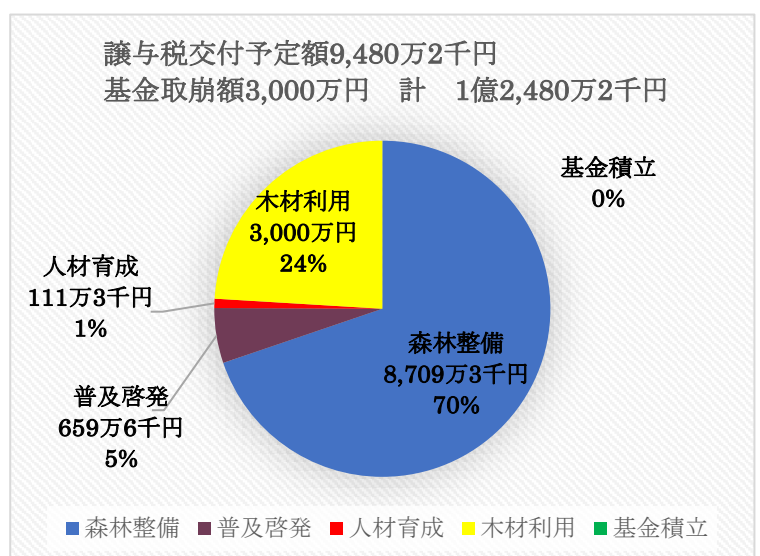
【令和3年度決算】（単位：千円）

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	20,156
	森林吸収源整備	22,744
	未整備林調査支援	53
	未整備林広葉樹転換促進	3,281
普及啓発	林業普及推進員活動	26
	制度活用経費	270
	ハッピーバース応援	2,820
人材育成	森林づくり協議会	71
	林業事業体活動促進	135
	木質バイオマス搬出支援	109
木材利用	公共建築物の木造木質化	445
基金積立		24,097
合計		74,207



【令和4年度予算】（単位：千円）

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	37,500
	森林吸収源整備	39,514
	未整備林調査支援	458
	経営管理集積林整備	864
	未整備林広葉樹転換促進	5,824
	資源循環型更新伐促進	2,933
普及啓発	林業普及推進員活動	94
	制度活用経費	876
	ハッピーバース応援ほか	5,450
	ビジョン改定経費	176
人材育成	森林づくり協議会	423
	林業事業体活動促進	210
	木質バイオマス搬出支援	480
木材利用	公共建築物の木造木質化 (山南統合中学校)	30,000
合計		124,802



令和4年度林業振興施策の進捗状況について

<推進目標>

公的森林整備	目標値	見込・進捗
森林経営計画の認定	5 件	2 件
間伐・更新伐面積	280.0 ha	79.5ha
作業道開設延長	30,000 m	16,283m

自治会等地域組織による森林整備	目標値	見込・進捗
森林山村多面的機能発揮対策交付金	15 組織 活動面積 60ha	14 組織 58.5ha
丹波の里山づくり体験促進事業 (丹波の森構想 30 周年記念事業関連)	チェンソー安全講習会 受講者 30 名	未定

県民緑税を活用した森林整備		進捗
野生動物共生林整備（整備造成）	戸坂Ⅰ	7.07ha
〃（調査）	戸坂Ⅱ	40.0ha
里山防災林整備（整備造成）	石生、森	15ha
〃（調査）	野瀬、市ノ貝	60ha
住民参画型森林整備	新規要望無	—
緊急防災林整備（溪流対策）調査	2 箇所（南由良、下竹田）	
〃（斜面对策）	11 箇所	54.40ha
針葉樹林と広葉樹林の混交林整備	新規要望無	

その他（地域産材を活用した地域経済活性化）

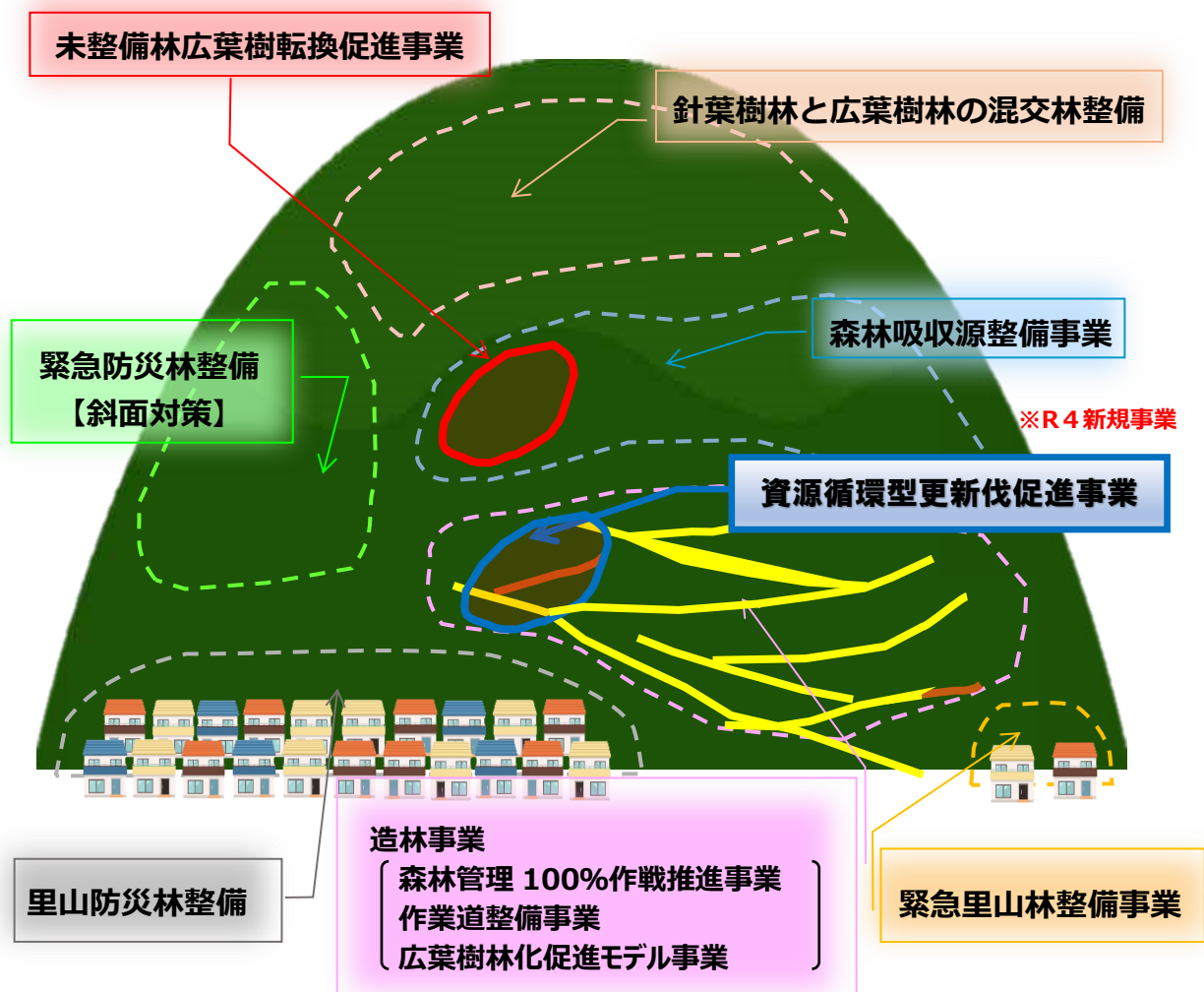
事業名	事業概要	補助額
廃校を活用した新たな中山間地域のビジネスモデル構築事業 （地域経済循環創造事業）	【事業主体】（株）フォレストドア 【事業内容】 旧神楽小学校を活用し、宿泊型研修施設、森林の情報発信や木の直売所、木のレンタルオフィス運営を行い丹波市産材を主とした地域経済活性化を図る。	市：7,334 千円 国：14,666 千円 計：22,000 千円

＜森林環境譲与税活用事業の取組（令和元年度から開始４年目）＞

森林環境譲与税活用事業	○森林環境譲与税活用事業の推進 ・温室効果ガスの排出削減や災害防止等を図るため、「森林環境税」が創設され、令和元年度から「森林環境譲与税」として国から県市町村に配分。この新たな財源を活用し、これまでの既存事業では取り組めなかった未整備林の環境整備や木材利用の推進等を実施する。 〔令和４年度予算額 9,480 万 2 千円〕 （前年度決算額の約 2,080 万円増） ＜今後の譲与額見込額＞ ・令和６年度～ １億 1,600 万円 ○緊急里山林整備事業 ・市民(地域)ニーズを第一に！（50 箇所以上の要望地） 人家裏危険木伐採など“山際に居住の市民の不安解消” 令和４年度は 9 地区 15 箇所で整備を計画 〔令和４年度予算額 3,750 万円〕 （前年度決算見込額の約 1.8 倍） ○森林吸収源整備事業 ・手入れが行き届いていない“未整備林”への対応 特に荒廃の著しい森林を「災害に強い森づくり」の視点で環境整備に取り組む。 〔令和４年度予算額 3,951 万 4 千円〕 （前年度決算額の約 1.8 倍） ○未整備林広葉樹転換促進事業 ・未整備林内の人工林において、森林の公益的機能の発揮が期待できる広葉樹へ転換し、「災害に強い森づくり」の視点で中長期にかけ混交林化を目指す。 〔令和４年度予算額 582 万 4 千円〕 （前年度決算額の約 1.7 倍） ○資源循環型更新伐促進事業【新規】 ・利用期を迎え、高齢級化に伴い二酸化炭素吸収量が減少傾向にあるスギやヒノキの人工林について、「資源の循環利用」の視点で人工林の再造林を図り、森林による二酸化炭素の吸収効果を最大限発揮することを目指す。 〔令和４年度予算額 293 万 3 千円〕
森林経営管理制度	森林所有者の意向に応じ市が森林管理を受託
林業普及推進員制度の活用	森林に対しての不安や悩みを持つ自治会等への派遣 林業普及推進員（委嘱者 15 人）のレベルアップ講座 活動交流会による情報交流

	<丹(まごころ)の木づかい推進プランに基づく取組(H31.4 策定)> 取組目標 2028 年度（令和 10 年度）を目標年度とし、以下の推進目標を定める。 ☆木造化の達成率 50% 木造化公共建築物（施設数）／木造化対象公共建築物（施設数） ☆木質化の達成率 100% 木質化公共建築物（施設数）／木質化対象公共建築物（施設数） ○令和4年度に木造・木質化への取組を進める施設 ・山南地域統合中学校新築工事（令和 4 年度完成） <令和 4 年度森林環境譲与税充当額 3,000 万円> ・地元産材利用促進事業・・・〔目標：使用材積 400 m³〕 <令和 4 年度予算額 800 万円（※一般財源）> ○ハッピーバース応援ギフト事業 ・出生祝い品として、「木育」の視点で市内産材木製玩具を贈呈（健康課） <令和 4 年度森林環境譲与税充当予定額 500 万円> ○生ごみ処理機(キエーロ)【新規】 ・「資源循環」の視点で、市内産材により作製される生ごみ処理機の購入補助支援（環境課） <令和 4 年度森林環境譲与税充当予定額 45 万円> ○基金の設置と運用の考え方 ・山南地域の統合中学校舎をはじめ、将来的に建設予定の公共建築物等の木造化・木質化などに必要な財源として、計画的に積みたてながら効果的に運用する。
丹波市森林づくりビジョン策定	平成 24 年度の策定から 10 年目の節目を迎えるにあたり、現代林業の動向や各種新制度を盛り込み、数十年後の森林を見据えた専門的知見を加えたビジョンとするため、改定業務委託を行います。（完成時期：令和 5 年度末）
丹波の森構想 30 周年記念事業	・モデル地区（6 団体）へのアドバイザーの派遣 ・活動支援メニューの提案など

丹波市の公的森林整備 -森林の現況にあわせ整備メニューを考えます



事業名	どんな森林で	整備内容	財源	R4 要求額
資源循環型更新伐促進事業 R4 新規事業	主伐期を迎え、高齢級化に伴い、吸収量が減少傾向にあるスギ・ヒノキの人工林において、若齢林に更新を図ることにより、森林吸収量の向上が望まれる森林。	主伐期を迎えた人工林を若齢林に更新を行い、間伐の着実な実施に加えて、「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進めるため、人工林の再造林を図る。	森林環境譲与税	293 万 3 千円
未整備林広葉樹転換促進事業	未整備林内の高林齢なスギ・ヒノキの人工林において、水源かん養や土砂流出防備など森林の公益的機能の発揮が期待できる広葉樹への転換が望まれる森林。	手入れ不足の人工林を対象に、「環境機能増進伐（＝地表に光が届く程度の強度間伐）」を行い、鹿の不嗜好性植物や早生樹などを植栽し広葉樹林や混交林への転換を図る。	森林環境譲与税	582 万 4 千円

緊急防災林整備【斜面対策】	急峻な地形により伐採木を搬出するための森林作業道が整備しにくい森林。	伐採した木は等高線上にならべ、表土の流出を防ぐ「簡易土留工」として活用する。	県民緑税	2,197万3千円
里山防災林整備	倒木により人家に危険を及ぼす恐れのある“危険木”の伐採、周辺環境を阻害する竹林の整備などが必要な森林。	整備が必要であるとされる森林面積が5ha以上と比較的大規模な集落裏などを対象とする。	県民緑税	※県営事業のため市予算措置なし
針葉樹林と広葉樹林の混交林整備	手入れの遅れた山頂付近などの高林齢なスギ・ヒノキの人工林。森林の機能が弱っている森林。	部分的に皆伐し、跡地に広葉樹を植栽。獣害防護柵の設置により広葉樹林群を育てる。	県民緑税	0円 ※補助要望なし
森林吸収源整備事業	これまで計画的な間伐などの手入れがされていない“未整備林”と呼ばれる森林。	伐採した木は等高線上にならべ、表土の流出を防ぐ「簡易土留工」として活用。	森林環境譲与税	3,951万4千円
造林事業 ①森林管理100%作戦推進事業 ②作業道整備事業 ③広葉樹林化促進モデル事業(名称変更)	伐採木を搬出するための森林作業道が整備しやすい、森林経営に向いている“経済林”と呼ばれる森林。	森林経営計画と呼ばれる事業計画に基づき、間伐や作業道を整備する。伐採したスギやヒノキは、建築材やチップ、ベニヤ板などの原料として原木市場へ運搬される。	造林補助金及び一般財源	①～③合計 5,047万4千円
緊急里山林整備事業	倒木により人家に危険を及ぼす恐れのある“危険木”の伐採、周辺環境を阻害する竹林の整備などが必要な森林。	前頁「里山防災林整備」の採択要件5ha以上の確保が難しい小規模な事業地を対象とする。自治会要望に基づき実施。	森林環境譲与税	3,750万円

今後の林業施策展開に向けた新たな検討事項について（案）

—森林環境譲与税の増額譲与に伴う施策の推進—

今年度は9,408万円（前年度比約2,000万円の増）、令和5年度は今年度と同額の9,408万円、令和6年度には約1億1,600万円と大幅な増収となることから、現行施策を推進しつつ、更なる施策を展開していく必要がある。

（１）市民（地域）ニーズへの対応

①緊急里山林整備の積極的な実施 **継続**

人家裏の危険木伐採を進め、山際居住の市民・自治会の不安解消につなげる。

②維持管理が行き届かない山裾の里山林、竹林等への整備メニューの検討 **新規**

既存のメニューの対象とならず、所有者・地域自治会でもマンパワー不足のため維持管理ができない地域の里山林への整備メニューの検討

③住民参画意識による森林整備に対する支援メニューの検討 **拡充**

森林山村多面的機能発揮対策交付金事業、住民参画型森林整備事業（緑税事業）などの住民活動組織による森林整備に必要となる山林内路網の維持管理や補修への支援を検討し、活動促進する。

（２）国が進めるカーボンニュートラルへの対応

脱炭素社会の実現を目指して創設されている「J-クレジット制度」を市有林において試行的に活用し、森林整備を進めるとともに、制度活用の手法構築と効果検証を行い、実行性を見極め、森林整備の促進につなげていく。

（３）丹波市森林づくりビジョンの改定

平成24年9月に策定した現行ビジョンの課題や成果を検証するとともに、「森林環境譲与税」や「森林経営管理制度」といった、新たな林政状況を踏まえて、これからの森林施策の基本方針や基本的施策を再検討し、ビジョン（改定版）を策定する。